科目ナンバリング	U-LAS02 20012 LJ36						
授業科目名<英訳>	日本語学文献講読論II Reading in the Document of Japanese Philology II			担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 教授　佐野　宏		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	芸術・文学・言語(各論)	使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	火4	配当学年	2回生以上	対象学生	全学向

（総合人間学部の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

[授業の概要・目的]

日本語表記史についての最新の研究成果を解説しつつ、何が問題となっているかを説明します。日本語の文字と表記の特質を踏まえて、古代文献を読み解くための基礎的な知識の修得を目的としています。

[到達目標]

日本語表記史上の仮名の成立について、基礎的な知識を修得し、先行研究を踏まえて自ら問題設定ができるようになることを到達目標とします。

[授業計画と内容]

1 「仮名」の成立とその定義
2 古典文学作品という手がかり／草仮名／文字セットとしての成立
3　万葉仮名
4　万葉仮名の由来
5　万葉仮名解読
6　古代の音韻と万葉仮名
7　万葉仮名解読
8　実に多彩な漢字の使い方
9　万葉仮名、平仮名、片仮名の変化を巡る議論
10　文字表記と文章文体の関係
11 平仮名・片仮名、そして仮名遣い
12　平仮名の歴史と役割概観
13　片仮名の歴史概観
14 ＳＮＳメディアにみる通俗的な文字表記
15 フィードバック（まとめ・課題レポート試験を含む）

[履修要件]

日本語史についての基礎知識が必要になるので、言学ＩＩを受講していることが望ましい。

[成績評価の方法・観点]

基礎的な事項の確認試験を行う（60%）。時折、講義中に小テストを行うほか、授業への積極的な参加度（40%）を総合的に加味して評価する。

日本語学文献講読論II(2)へ続く↓↓↓

日本語学文献講読論II(2)

[教科書]

尾山慎『日本語の文字と表記　学びとその方法　』（花鳥社）ISBN:978-4-909832-69-6
他にプリントを配付する。

[参考書等]

（参考書）
佐竹昭広/木下正俊/小島憲之『萬葉集　本文篇』（塙書房）ISBN:978-4-8273-0081-9
参考資料として適宜プリントを配付する。

[授業外学修（予習・復習）等]

テキスト及びプリントを用いて、課題を出す。これによって復習と予習ができるようになっている。

[その他（オフィスアワー等）]

木曜日４限をオフィスアワーとする。会議等で不在の場合があるので、必ず事前に確認をすること。

[主要授業科目（学部・学科名）]